

2 結果の概要

(1) ペーパーテスト

- ・全体として、今回調査した基礎的・基本的な内容はおおむね身に付いている。

<教科別具体事例> (: 十分身に付いている力)

国語	話の内容を考えながら正しく聞き取ったり、書かれている内容を正しく読み取ったりする力、漢字を正しく読む力など
社会	基礎的な知識としての産業や歴史に関する用語の理解、基本的な地図やグラフを読み取る力など
算数、数学	簡単な四則計算の技能、一次方程式と連立方程式を解く力、グラフの表す意味を考える力など
理科	生物が生きていくためのしくみについての知識・理解、測定器具を正しく取り扱い、測定値を読み取る技能など
英語	日常生活でよく用いられる基本的な慣用表現を使用する力、具体的な内容を正しく聞き取ったり読み取ったりする力など

- ・課題となっていた「文章、資料、図表等を深く読み取る力」や「学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、自分の考えを適切に表現する力」等は、今後も引き続き充実を図っていく必要がある。

<教科別具体事例> (: 一層高めていく必要がある力)

国語	グラフや表・資料を読んで考えたことを、根拠や理由を明らかにして決められた字数で書く力など
社会	複数の資料から読み取ったことをもとに自分の考えを記述する力や、情報をもとに略地図をかいたり、計算してグラフに表現したりする力など
算数、数学	面積の求め方を考える力、文字式の意味を読み取る力、証明の誤りに気付いて正しく書き直す力、表やグラフに示された数量の関係を式で表現する力など
理科	結果を考察し、文章、図、数式、化学式等を使って適切に表現する力や、見いだした規則性を活用して事象を説明する力など
英語	会話の流れや文脈から、話し手や書き手の意向を理解したり、適切に応答したりする力や、内容が適切に伝わるように正しい語順でまとまりのある英文を書く力など

【教科別改善の方向】

国語	文章や資料、グラフや図表等を読んで考えたことを、根拠や理由を明らかにして決められた字数で書いたり、それをもとにして交流したりする機会の充実、学習した漢字を繰り返し書いたり使用したりする機会の充実
社会	問題解決学習の充実を図り、課題に対して様々な資料から読み取ったことを比較・関連付け・総合しながら自分の考えを記述し、伝え合い、考えを深める機会の充実
算数・数学	算数的活動や数学的活動を通し、学習内容を実感を伴って理解する機会の充実、言葉や数、式、図、表、グラフ等を用いて数学的に表現したりする機会の充実
理科	観察・実験の結果を表やグラフなど整理し考えをもったり、考えたことを表現したりする機会、日常生活との関連を重視し実感を伴った理解を図る機会の充実
英語	具体的な活動場面を設定し、目的を明確にした言語活動の充実、言語活動と効果的に関連付けた言語材料の習得、多様なトピックについて自己表現する機会の充実

(2) 質問紙調査

- ・「勉強が好き」「勉強は大切」「努力して勉強しなければならない」については、「そう思う・どちらかというと思う」の割合が、3年連続して増加している。
- ・90%以上の児童生徒が「勉強は大切である」を選択している。80%以上の児童、70%の生徒が「勉強する意欲がある」を選択している。
- ・70%以上の児童、60%程度の生徒が「学校の授業が分かる」を選択している。どの学年も昨年度と比べて0.3~1.3ポイント増加しており、3年連続して増加傾向がみられる。
- ・授業の中で分からないことがあった時、「友だちにたずねる」児童生徒は、どの学年とも60%以上みられる。
- ・家庭で計画を立てて学習をする児童生徒は、学年が進むにつれて減少する傾向にある。
- ・「ペーパーテストの結果」との相関から
- ・「ふだんから計画を立てて家庭での勉強をしている」など、学習習慣が身に付いている児童生徒ほど、正答率が高くなる傾向がみられる。
- ・「家の人とよく話をする」「家の人からほめられたり、はげまされたりする」など、家族とのコミュニケーションや触れあいのある児童生徒ほど、正答率が高くなる傾向がみられる。

【今後の指導の方向】

- ・一人一人が問題解決的な学び方を身に付け、学ぶ喜びを味わうことができるよう、教材の工夫、展開の工夫、評価の充実など魅力ある授業に努め、学習意欲の喚起を一層促す必要がある。
- ・家庭においても、規律ある生活を送り、計画を立てて主体的に学習する習慣を身に付けるよう、本人のわずかな成長を見逃さずに認め励ますことで、自信を育てる働きかけをする必要がある。